



技術開発による可能性

～集成材を活かした建築へのこだわり～



昨年6月、南相馬市で開催された全国植樹祭の「お野立て所」。大きなアーチを描くお野立て所は、天皇・皇后両陛下がお座りになり、植樹祭のシンボルとして注目を集めました。ここで使われたのは「集成材」という木材です。集成材は、幅、厚さ、長さ及び曲率を自由に設定することができ、様々な建築を可能にします。また、あたたかさ、味わいといった木材の良さを活かした造りは、人々の気持ちに安らぎをもたらします。

製作したのは、郡山中央工業団地内の藤寿産業株式会社です。全国屈指の集成材専門企業として、これまで国内に600件以上の建築物の施工や部材供給を行ってきました。最近、神田明神文化交流館「EDOCCO」や高輪ゲートウェイ駅の建築にも携わるなど活躍されています。また、パラオ共和国への部材供給や現地での建築指導を行うなど、海外へも活躍の場を広げています。これらの功績が評価され、昨年にはふくしま産業賞の金賞を受賞されました。

藤寿産業だからこそできる建築。その技術力や木材に対するこだわり等、社長の蔭山寿一さんにお伺いしました。

■ 藤寿産業のあゆみ

同社は昭和50年に創業し、今年で44年目を迎えます。創業当初は、県の公営住宅に使用する造作用集成材の製造が中心でした。昭和62年に建築基準法が規制緩和されたことを契機に、中・大規模建築の構造用集成材を取り扱うようになりました。平成4年には同社を含む異業種5社で「福島県木造技術開発協同組合」を設立し、製材品の共同乾燥、共同販売、共同加工や県内学校の机・いすなどの木製品の共同受注を行っています。

■ 進化し続ける藤寿産業の技術力

現在、木材・木製品製造業界は、人口減少や高齢化の影響による住宅着工の需要減少が続いており、大規模公共施設に対する積極的な木材利用へとニーズが移



全国植樹祭お野立て所

藤寿産業株式会社

代表取締役 蔭山 寿一

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字上川原286-12

TEL 024-944-7550 / FAX 024-943-3878

<https://toju.co.jp/>

り変わっています。建物が大きくなればなるほど優れた耐火性が求められ、また、多様なデザインへの柔軟な対応力も必要です。

同社が選ばれてきた理由は、ありとあらゆる建物に対応できる技術開発力にあります。産学連携により共



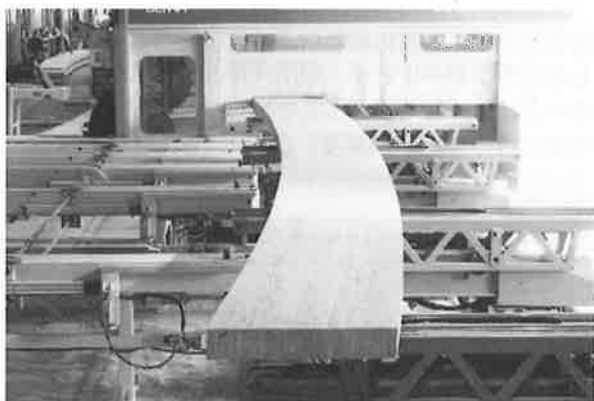
代表取締役 蔭山寿一さん

同開発した「耐火性集成材」は、接着剤や構造の工夫により1時間の耐火試験に合格し、国土交通省の認可を受けました。また、木材と鉄を一体化した「ハイブリット集成材」は、建物の強度を強めながらも木材本来の良さが活かせる部材となっています。そして、全国でも有数の「超大断面材」「耐火木材」「湾曲材」に対応した設備を導入したことにより、大空間構造による建築や短期での加工が可能となっています。

さらに同社では、その技術を支える社員が胸を張って働いていける環境づくりにも力を入れています。「当社の技術力進歩の第一は“社員”です。働く社員が自信を持てるような会社として、これからもあり続けるのが目標です。」蔭山社長がそう語るように、難しい案件であっても率先して若手社員に挑戦させるなど、知識・技術を次の世代へと引き継ぐことで、社員の力は日々進歩し続けています。

■ 今後目指すものとは

最後に、蔭山社長に「未来」に対しての思いについてお伺いしました。「創業者の意思を受け継ぎ、これからも国産材、中でも県産材にこだわっていきたくいですね。福島は森林県ですし、県産材を安定的に使い続けられれば、地元の生産者に貢献できると思っています。当社の技術力を駆使することで、木の持つ本来の香りやあたたかさを活かした、あらゆる建物に対応できると自負しております。これからも木にこだわり、『木の心を伝えられる企業』として躍進していきたいと考えています。」



長大な湾曲材にも対応